

JART が目指す診療放射線技師の将来像

公益社団法人日本診療放射線技師会

会長 上田克彦

三重県診療放射線技師会の創立 70 周年の式典開催にあたり心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、昭和 26 年に創立されて以来、日本の高度経済成長期を経て現在に至るまで、診療放射線技師の質向上、会員の交流にご尽力され、三重県の保健医療の向上に大きく貢献してこられたと存じます。この間の多大な御努力に対し敬意を表しますとともに、永年にわたり、診療放射線技術の向上と医療の発展に尽くされた三重県診療放射線技師会の皆様に心からお祝い申し上げます。

さて、令和 2 年から新型コロナウイルス感染症の拡大は何度も波が押し寄せその都度、医療体制を維持していただけても大変なご苦勞があったと思います。また、社会生活が一変し「新しい日常」を取り入れた社会活動へ変化が求められてきました。日本診療放射線技師会でも、オンラインの利点を活かして、会員にサービスを提供できる事業展開を目指しております。

日本診療放射線技師会は昭和 22 年の創立以来、皆様のご尽力により今日では 3 万人を数える全国組織となりました。本年には、診療放射線技師法が改正され、新たな業務拡大が求められています。この一部には「造影剤投与のための「静脈路確保」というこれまでに診療放射線技師が経験したことのない”侵襲的医療行為”も含まれております。このため、不安に感じられている会員も少なくないと想像しています。本講演では診療放射線技師法改正の経緯と新しい役割に伴う「告示研修」についてご紹介させて頂きたいと存じます。

2017 年に「医師の働き方改革に関する検討会」が発足し 2024 年 4 月から勤務医の時間外労働上限が設けられることになったため、医師から他の医療専門職へのタスク・シフト/シェアを積極的に推進することになりました。「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」が 2020 年 12 月にまとめた最終報告によりますと、診療放射線技師に関しては法令改正を行い拡大する業務は以下の 6 項目となりました。

1.造影剤を使用した検査や RI 検査のために、静脈路を確保する行為、RI 検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為。2. RI 検査のために、RI 検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為。3.動脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確保のためのものを除く)、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為。4.下部消化管検査(CT コログラフィ検査を含む)のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為。5.上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為。6.医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査。これらの業務は医師の指示にて実施できることが検討会報告書に記載されており、具体的な指示が成立する条件も明記されています。

この報告を受け診療放射線技師法改正も含んだ「良質かつ適切な医療を効率的に提供す

る体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」が国会へ提出されました。これらの議論と並行し診療放射線技師等の業務範囲拡大のための有資格者研修の確立および学校養成所教育カリキュラム見直しに向けた厚生労働省の研究が実施され 2021 年 2 月に報告がなされました。タスク・シフト/シェアを行う業務内容に関連する教育・研修内容、告示科目、審査基準等が検討され、追加業務に関する有資格者研修のカリキュラムの開発と学校養成所カリキュラムの見直しに関して提言されました。これに基づいて診療放射線技師の業務拡大に伴う告示研修のテキストや e-learning コンテンツは日本医学放射線学会と日本看護協会の監修にて作成されることになりました。医師の時間外労働上限規制が適用される 2024 年 4 月に向け可能な限り早期にタスク・シフト/シェアが実施されることが望ましいことから、7 月 9 日の告示指定通知を受けて 7 月 31 日から告示研修の基礎研修を開始し、三重県でも開催される実技研修についても現在準備を進めております。

今回の業務拡大の背景は医師のタスク・シフト/シェアによるものであることは、十分ご理解頂いているかと存じます。私は「求めてきた業務拡大」から「求められる業務拡大」への変化と捉え、貴会の皆様と共に、国民の医療に貢献できるよう前進して行きたいと存じます。

診療放射線技術の発展及び診療放射線技師の質向上に果たす貴会の役割は大変重要であると考えます。貴会の皆様には、一層のご協力を賜りますよう念願しております。最後に、貴会の益々のご発展と会員並びに関係者の皆様方のご健勝とご活躍を祈念しております。